

Kenko



ケンコー
デジタルムービーカメラ
VS30FHD タッチパネル

取扱説明書

このたびはデジタルムービーカメラ「VS30FHD タッチパネル」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



Kenko

ケンコー
デジタルムービーカメラ
VS30 FHD **タッチ**
パネル
取扱説明書

このたびはデジタルムービーカメラ「VS30FHD タッチパネル」をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。



目次

はじめに	06
安全上のご注意	07
カメラの紹介	09
セット内容	09
各部の名称	10
ご使用前に	12
電池の取り付け	12
液晶モニタのセット	13
充電電池の充電	14
アルカリ乾電池に関する安全上のご注意	15
リチウムイオン充電電池に関する安全上のご注意	15
SD/SDHCメモ리카ードを使用する場合	16
SD/SDHCメモ리카ードの取り付け	16
SD/SDHCメモ리카ードを使用する前に	17
ファイル名/ディレクトリ名を変更しない	17
SD/SDHCメモ리카ードのフォーマット	18
電源のオン/オフ	19
タッチパネルの操作	20
モードの切替	20
動画サイズ、静止画サイズの変更	21
モードの切替	22
LED表示	23
LEDムービーライトの使用	23
日付/時刻の設定	24
言語の設定	25
液晶モニタに表示されるアイコン	26
動画モード	26
静止画モード	27
音声モード	28
動画再生モード	28
静止画再生モード	29
音声再生モード	29

動画モード	30
動画の撮影	30
縦横比	30
撮影距離	31
ズーム撮影	32
動画メニュー	33
動画サイズ	33
ホワイトバランス	34
色効果(効果)	35
測光方式(測光)	36
逆光補正	37
夜景モード	38
光量検知	39
露出補正	40
静止画モード	41
静止画の撮影	41
ズーム撮影	41
撮影距離	41
静止画メニュー	42
静止画サイズ	42
ホワイトバランス	43
色効果(効果)	43
測光方式(測光)	43
逆光補正	43
夜景モード	43
セルフタイマー	44
連続撮影	45
露出補正	45
音声モード	46
音声の録音	46
再生モード	47
動画ファイルの再生	47

静止画ファイルの再生	48
再生ズーム	49
音声ファイルの再生	50
クイック削除	51
再生メニュー	52
削除	53
保護・保護解除	55
スライドショー	56
回転	57
DPOF	58
設定モード	59
設定メニュー	59
アイコン表示	60
日付/時間	61
ピープ音	61
初期設定	62
テレビ出力	63
USB	64
自動電源オフ	65
電源周波数	66
言語	66
フォーマット	67
ファイル番号	67
液晶輝度	68
プレビュー	69
メモリ	70
操作音量	71
起動ロゴ	72
リモコン	73
リモコンを使用する	73
プリント	74
プリント	74



目次

カメラ店等(お店プリント)でプリントする場合…74
プリンタ(自宅プリント)を使用してプリントする場合…74

テレビとの接続 75

標準テレビとの接続……………75
ハイビジョンテレビとの接続……………76

パソコンとの接続 77

パソコンとの接続……………77
転送時のご注意……………77
PCカメラの使用……………78
PCカメラ用ドライバのインストール……………79

付属アプリケーション 80

付属のソフトウェアの説明……………80
Quick Time ……………80
PDF-Reader……………80
付属CD-ROM内の取扱説明書……………80
ソフトウェアのインストール……………81
Quick Time のインストール……………81
PDF Reader のインストール ……………82
User Manual の使用準備と使用方法 ……………83

動画データ(HD画質)の保存・再生 84

トラブルシューティング 85

こんなときは……………85

記録可能時間/枚数の目安 86

動画の記録可能時間……………86
静止画の記録可能枚数……………86

仕様 87

製品仕様……………87
PC環境……………88

保証規定 89

保証書 90



はじめに

このたびは、デジタルムービーカメラ「VS30FHD タッチパネル」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。あらかじめご了承ください。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複製することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高精度な技術で作られておりますが、画素欠けや常時点灯があります。使用部品メーカーの保証値となりますので、あらかじめご了承ください。



安全上のご注意 必ずお読みください

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

 危険	 警告	 注意
この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

危険

- 可燃ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でLEDムービーライトを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因となります。



安全上のご注意 必ずお読みください

警告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ポリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
●砂、ほこり、ちりの多い場所 ●火の近く ●湿ったところ ●振動の激しい場所 ●温度・湿度の変化が激しい場所
- 車内は、湿度変化が激しく高温あるいは低温になり振動もありますので使用および保管は避けてください。
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。
寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。
低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。
汚れたままですと、鮮明に撮影することができません。
- ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。



カメラの紹介

▶ セット内容

以下のセット内容が揃っているかどうか、ご確認ください。

デジタルムービーカメラ本体



リチウムイオン充電電池



USB-PC接続ケーブル



TV接続ケーブル



HDMI接続ケーブル



ポーチ



リモコン



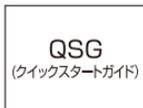
ACアダプタ



CD-ROM
(パソコン用のソフトウェア)



クイックスタートガイド



取扱説明書(本書)

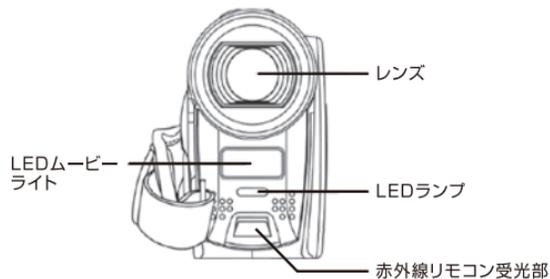




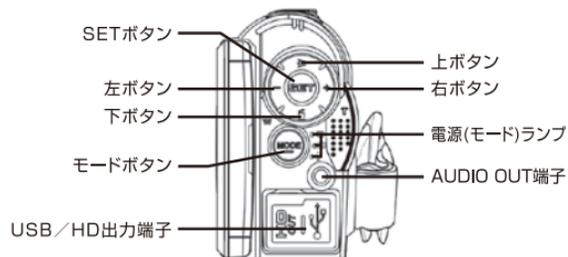
カメラの紹介

各部の名称

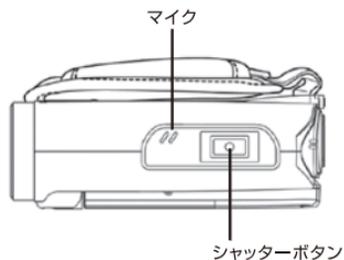
前面



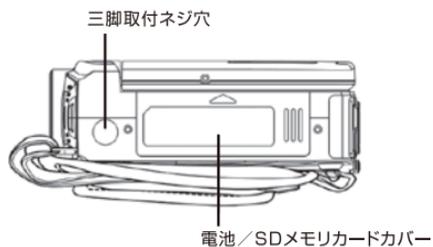
背面



上面



底面



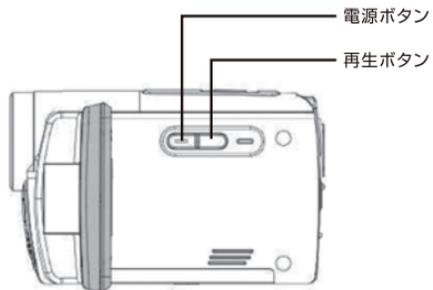
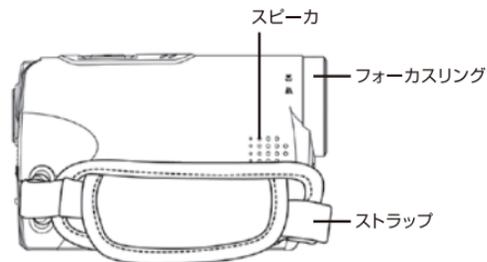


カメラの紹介

左側面



右側面





ご使用の前に

▶ 電池の取り付け

1. 液晶モニタカバーを開きます。
2. 電源をオフしてから、電池／SDメモ리카ードカバーを刻印の▶方向にスライドさせて開きます。
3. 付属のリチウムイオン充電電池を、右図を参考にして正しい方向にセットします。
4. 電池／SDメモ리카ードカバーを閉めます。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- 電池は+方向に注意し、正しくセットしてください。
- 単4形アルカリ乾電池も使用できます。右図を参考にして正しくセットしてください。



◆電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。

- 電池の残量は充分です。
- 電池の残量は半分程度です。
- 電池の残量がわずかです。充電の準備をしてください。
- 電池の残量がありません。充電してください。
- 充電中です。
- 電池が挿入されていません。ACアダプタの使用中です。

◆単4形乾電池は、アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池をご使用ください。

ニッケル水素充電電池を使用した場合、電池残量表示が均等に表示されませんのでご注意ください。

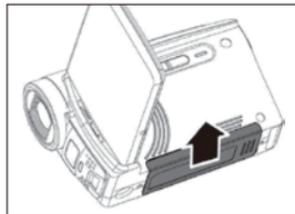
◆オキシライド乾電池は初期電圧が高く、カメラ本体を破損する恐れがあるため、使用しないでください。

◆電池をカメラの中に入れてまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。
カメラを使用しないときは電池を取り出してください。

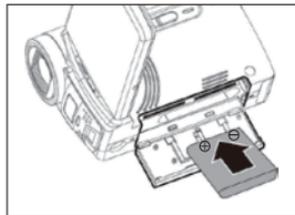
◆カメラの操作に必要な電源を得ることができないマンガン電池は、使用できません。

◆電池は、気温0℃以下または40℃以上では正常に動作しない場合があります。
カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。

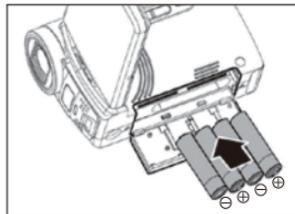
2.



3. リチウムイオン充電電池の取り付け



単4形アルカリ乾電池の場合

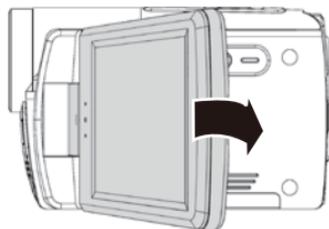
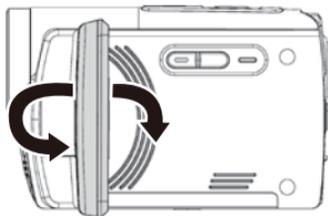
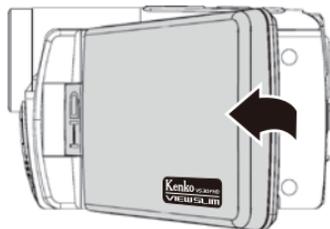




ご使用の前に

▶ 液晶モニタのセット

矢印の方向に、液晶モニタを回転させることができます。



◆強い力で無理に廻したりしないでください。破損する場合があります。



ご使用前に

▶ 充電機の充電

付属のACアダプタを使用し、リチウムイオン充電機を充電します。

1. 付属のリチウムイオン充電機をカメラに装着し、
下図のようにACアダプタのミニUSB端子をカメラに接続してACアダプタをコンセントに接続します。
2. LEDランプが赤色に点灯します。
3. 充電が完了するとLEDランプが消灯します。



- ◆初回使用時はフル充電してください。
- ◆付属のACアダプタ以外を使用しないでください。



- ACアダプタでは、単4形乾電池は充電できません。アルカリ乾電池またはニッケル水素充電機をセットした状態でACアダプタを接続しないでください。





ご使用の前に

▶ アルカリ乾電池に関する安全上のご注意 (対象：アルカリ乾電池使用時)



警告 アルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電、(+)(-)の逆方向の装着をしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

▶ リチウムイオン充電電池に関する安全上のご注意 (対象：リチウムイオン充電電池使用時)



警告 付属のリチウムイオン充電電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時は、フル充電してください。付属の充電器(ACアダプタ)以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、(+)(-)の逆方向の装着はしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診察・治療を受けてください。
- ④リチウムイオン充電電池をカメラから取出して保管・持ち運びの場合、安全のためビニール袋・プラスチックケース等に入れてください。
- ⑤リサイクルのお願い



不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。

・ホームページ <http://www.bai.or.jp/>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事項

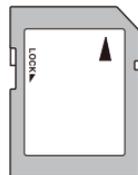
- － プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- － 皮覆をはがさないでください。
- － 分解しないでください。



ご使用の前に

▶ SD/SDHCメモ리카ード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の32MB内蔵メモリに記録されます。SDメモ리카ード(別売)をカメラ底面のSDメモ리카ードスロットにセットして録画・撮影すると、録画・撮影したファイルは自動的にSDメモ리카ードに記録されます。



SDメモ리카ード



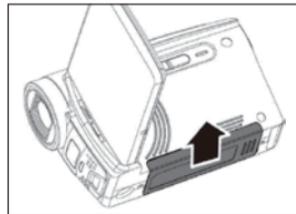
- このカメラに使用できるメモ리카ードの仕様は、SDメモ리카ード(32MB～2GB)、SDHCメモ리카ード(4GB～32GBまで)です。その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。
- すべてのSD/SDHCメモ리카ードで動作を保証するものではありません。

▶ SD/SDHCメモ리카ード(別売)の取り付け

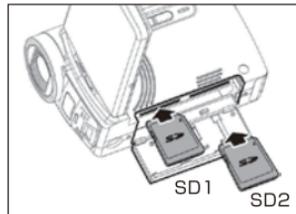
SDメモ리카ードは、カメラ底面にあるSDメモ리카ードスロットにセットします。

1. 液晶モニタカバーを開きます。
2. 電源をオフにしてから、電池/SDメモ리카ードカバーを刻印の▶方向にスライドさせて開きます。
3. 挿入する方向を確認してから、SDメモ리카ードをSDメモ리카ードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
SDメモ리카ードを1枚セットする場合は、SD1スロットに入れます。
(SDメモ리카ードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します)
4. 電池/SDメモ리카ードカバーを閉めます。

2.



3.



- ◆新しいSDメモ리카ードを使用される際は、あらかじめSDメモ리카ードのフォーマット(P.18参照)をしてください。
- ◆差し込みにくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。
- ◆2枚のSDメモ리카ードを使用した場合、1枚目のSDカードが一杯になると、自動的に2枚目のSDメモ리카ードに記録されます。動画・音声は2つのファイルに分割され、数秒の未記録時間が生じます。撮影前にSD1を選択してあればSD1のカードからSD2のカードへ、SD2を選択して撮影を始めるとSD2からSD1へと記録されます。



- SDメモ리카ードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- データをパソコンに転送している最中に、SDメモ리카ードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモ리카ードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。

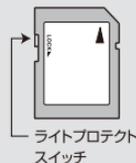


ご使用の前に

▶ SD / SDHCメモ리카ードを使用する前に



- ◆新品のSDメモ리카ードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモ리카ードを装着すると、カメラはSDメモ리카ードを認識し、内蔵メモリを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.6～8に記載されていますので必ずよくお読みください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影 / 再生中にSDメモ리카ードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモ리카ードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモ리카ードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - SDメモ리카ードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモ리카ードをフォーマット(初期化)する機能がついています。フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
 - ライトプロテクトスイッチについて
SDメモ리카ードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモ리카ードはロックされ、SDメモ리카ードへの記録 / 消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録 / 消去する場合はロックを解除してください。



ⓧ ファイル名 / ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモ리카ードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモ리카ードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモ리카ードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモ리카ードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモ리카ードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消去されますので、あらかじめご了承くださいの上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。
- 不要になったSDメモ리카ードの処理方法は、SDメモ리카ードメーカーにお問い合わせください。



ご使用の前に

SD／SDHCメモ리카ードのフォーマット

メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



- SDメモ리카ードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモ리카ードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモ리카ードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません)。
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモ리카ードのライトプロテクトスイッチ(P.17参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. SETボタンを押し、左または右ボタンを押して 設定メニューを選択します。
液晶モニタの メニューアイコンをタッチ後に 設定メニューアイコンをタッチしても、設定メニューを選択することができます。
3. 上または下ボタンを押して「フォーマット」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタの▲または▼アイコンをタッチ後に「フォーマット」をタッチしても、サブメニューに入ることができます。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、フォーマットの実行／キャンセルをすることができます。
はい：フォーマットします。 いいえ：フォーマットしません。
5. 再度、確認画面が表示されます。下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
はい：フォーマットします。 いいえ：フォーマットしません。
6. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニタの 戻るアイコンをタッチしても、撮影画面に戻ることができます。



- ◆SD／SDHCメモ리카ードが装着されていない場合は、内蔵メモリがフォーマットされます。
- ◆SDカードが2枚装着されている場合、SD 1 スロットまたはSD 2 スロットどちらかのSDメモ리카ードがフォーマットされます。どちらを選択しているのか、P.70「メモリ」を確認してからフォーマットしてください。

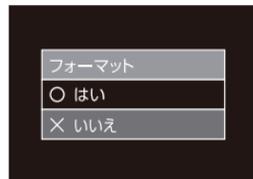
3.



4.



5.





ご使用前に

▶ 電源のオン／オフ

液晶モニタカバーを開くと、自動的にカメラの電源がオンになります。

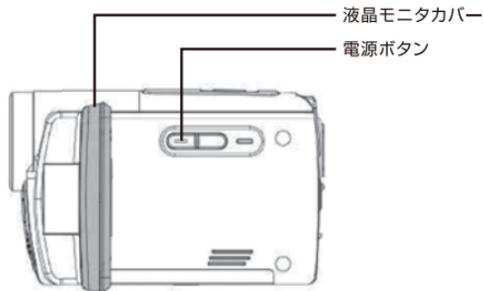
液晶モニタカバーを閉じると、自動的にカメラの電源がオフになります。

または電源ボタンを押すと、カメラの電源がオンになります。再度電源ボタンを押すと、電源がオフになります。



◆一定時間以上カメラを使用しない時間が続くと、自動的にカメラの電源がオフになります。
P.65「自動電源オフ」をご覧ください。

◆液晶モニタカバーを開いた状態で電池／SDメモ리카ードカバーを閉じると、電源がオンになります。



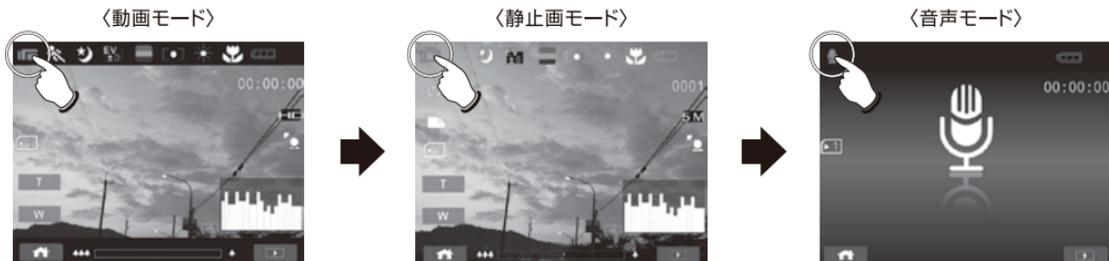


ご使用の前に

▶ タッチパネルの操作

▶ モードの切替

液晶モニタのモードアイコンをタッチし、モードを切替えます。
アイコンをタッチすることにより、3種類のモード(動画モード・静止画モード・音声モード)に切替わります。
モードボタンを押しても同様に切替できます。P.22「モードの切替」をご覧ください。





ご使用の前に

📺 動画サイズ・静止画サイズの変更

液晶モニタの動画サイズアイコン・静止画サイズアイコンをタッチし、動画サイズ・静止画サイズを切替えます。アイコンをタッチすることによりサイズが切替わります。メニューからもサイズの変更ができます。P.33「動画サイズ」、P.42「静止画サイズ」をご覧ください。





ご使用の前に

モードの切替

モードボタンを押して、モードを切替えます。

ボタンを押すごとに、3種類のモード(動画モード・静止画モード・音声モード)が切替わります。



〈動画モード〉



〈静止画モード〉



〈音声モード〉



- ◆モードの切替は、タッチパネル操作でも行うことができます。P.20「モードの切替」をご覧ください。
- ◆選択されたモードのアイコンがモニタの左上に表示されます。
モードボタン横の小さな緑色LEDでも選択されたモードが表示されます。



ご使用の前に

▶ LED表示

LEDの種類	LEDの状態	カメラの状態
電源ランプ	緑色	電源が入っています。(選択されたモードを表示)
録音ランプ	赤(ゆっくり点滅)	録音中です。
セルフタイマランプ	赤(点滅)	セルフタイマが作動中です。

▶ LEDムービーライトの使用

撮影時、LEDムービーライトを補助光として使用します。
上ボタンを押すことにオン・オフが切替わります。



- ◆液晶モニタで被写体を確認してください。
- ◆LEDムービーライトの有効範囲は、約0.2m～1.0mです。



ご使用前に

▶ 日付／時刻の設定

カメラをご使用前に、日付と時刻の設定を行います。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. SETボタンを押し、左または右ボタンを押しして 設定メニューを選択します。
液晶モニタの メニューアイコンをタッチ後に 設定メニューアイコンをタッチしても、設定メニューを選択することができます。
3. 上または下ボタンを押しして「日付／時間」を選択し、SETボタンを押ししてサブメニューに入ります。
液晶モニタの「日付／時間」をタッチしても、サブメニューに入ることができます。
4. 上または下ボタンを押しして数値を調整し、左または右ボタンを押しして項目を移動し、SETボタンを押しして決定します。
液晶モニタの または アイコンをタッチして数値を調整、次のアイコンをタッチして項目を移動することもできます。
5. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニタの 戻るアイコンを2度タッチしても、撮影画面に戻ることができます。

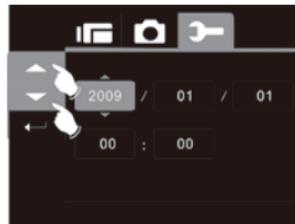
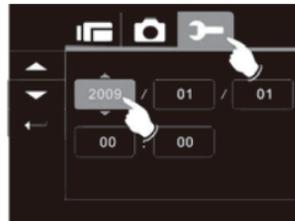


◆「日付／時間」は、リセットしても初期設定に戻りません。

3.



4.





ご使用の前に

▶ 言語の設定 (初期設定：日本語)

カメラをご使用の前に、言語の設定を行います。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. SETボタンを押し、左または右ボタンを押しして  設定メニューを選択します。
液晶モニタの  メニューアイコンをタッチ後に  設定メニューアイコンをタッチしても、設定メニューを選択することができます。
3. 上または下ボタンを押しして「言語」を選択し、SETボタンを押ししてサブメニューに入ります。
液晶モニタの  または  アイコンをタッチ後に「言語」をタッチしても、サブメニューに入ることができます。
4. 上または下ボタンを押しして使用する言語を選択し、SETボタンを押しして決定します。
液晶モニタの言語、例えば「日本語」をタッチしても、言語を決定することができます。
5. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニタの  戻るアイコンをタッチしても、撮影画面に戻ることができます。



◆「言語」は、リセットしても初期設定に戻りません。

2./3.



4.



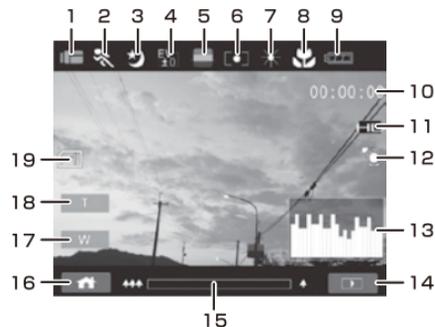


ご使用前に

液晶モニタに表示されるアイコン

動画モード

※設定により表示されるアイコンは異なります。



1. モード
2. 光量検知
3. 夜景モード
4. 露出補正
5. 色効果
6. 測光方式
7. ホワイトバランス
8. マクロ(近接)モード

9. 電池残量
10. 撮影可能時間 (目安です)
11. 動画サイズ
12. 逆光補正
13. ヒストグラム
14. 再生
15. ズームインジケータ
16. メニュー

17. ズームアウト
18. ズームイン
19. メモリ

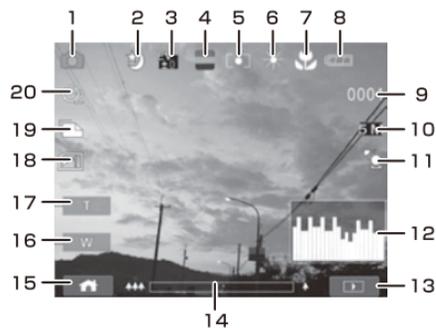
- SDメモ리카ード1
- SDメモ리카ード2
- 内蔵メモリ



ご使用の前に

静止画モード

※設定により表示されるアイコンは異なります。



- | | | |
|---------------|-----------------|----------------|
| 1. モード | 8. 電池残量 | 15. メニュー |
| 2. 夜間モード | 9. 撮影可能枚数(目安です) | 16. ズームアウト |
| 3. 露出補正 | 10. 静止画サイズ | 17. ズームイン |
| 4. 色効果 | 11. 逆光補正 | 18. メモリ |
| 5. 測光方式 | 12. ヒストグラム | 19. 連写モード |
| 6. ホワイトバランス | 13. 再生 | 20. セルフタイマーモード |
| 7. マクロ(近接)モード | 14. ズームインジケータ | |



ご使用の前に

音声モード

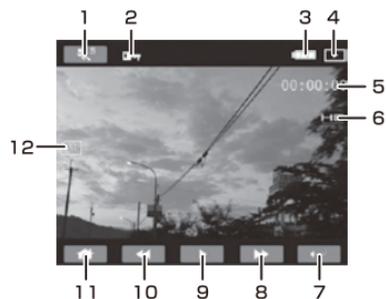
※設定により表示されるアイコンは異なります。



1. モード
2. 電池残量
3. 記録可能時間 (目安です)
4. 再生
5. メニュー
6. メモリ

動画再生モード

※設定により表示されるアイコンは異なります。



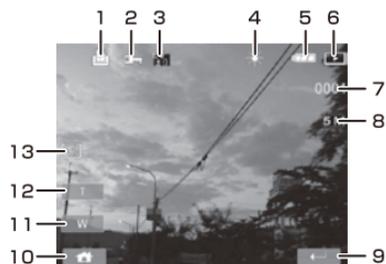
1. スローモーション再生
2. 保護
3. 電池残量
4. モード
5. 記録時間 または 再生時間
6. 動画サイズ
7. 戻る
8. 早送り
9. ▶再生 または ||一時停止
10. 巻き戻し
11. メニュー
12. メモリ



ご使用の前に

静止画再生モード

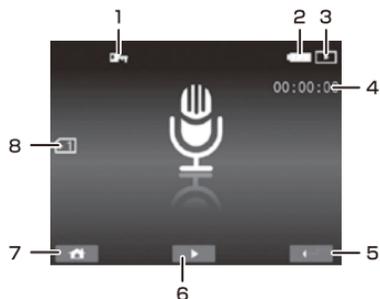
※設定により表示されるアイコンは異なります。



1. DPOF
2. 保護
3. 露出補正
4. ホワイトバランス
5. 電池残量
6. モード
7. ファイル番号
8. 静止画サイズ
9. 戻る
10. メニュー
11. ズームアウト
12. ズームイン
13. メモリ

音声再生モード

※設定により表示されるアイコンは異なります。



1. 保護
2. 電池残量
3. モード
4. 記録時間 または 再生時間
5. 戻る
6. ▶再生 または ||一時停止
7. メニュー
8. メモリ



動画モード

▶ 動画の撮影

動画を撮影します。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押して、 動画モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコン(上部左側)をタッチしても、モードを切替えることができます。
3. 液晶モニタで被写体を捉え、構図を決めます。必要に応じてズームを使用してください。
4. シャッターボタンを押して、撮影を開始します。
5. 再度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。
個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。



◆動画撮影中は、モニタの左上に赤くRECと表示されます。

◆1ファイルの最大撮影容量は、FHD/HD/WVGAサイズの場合は3.8GB、WEBサイズの場合は1GBです。

3.



※設定により表示されるアイコンは異なります。

⌘ 縦横比(アスペクト比)

動画ファイルの縦横比(アスペクト比)は動画サイズによって異なります。各サイズの比率については、下記の表をご覧ください。

動画サイズ	比率
FHD (1920 × 1080)※	16 : 9
HD (1280 × 720)	16 : 9
WVGA (848 × 480)	16 : 9
WEB (320 × 240)	4 : 3

※FHD(1920 × 1080)は、出力サイズです。

16 : 9



4 : 3





動画モード

📷 撮影距離(フォーカスモードの切替)

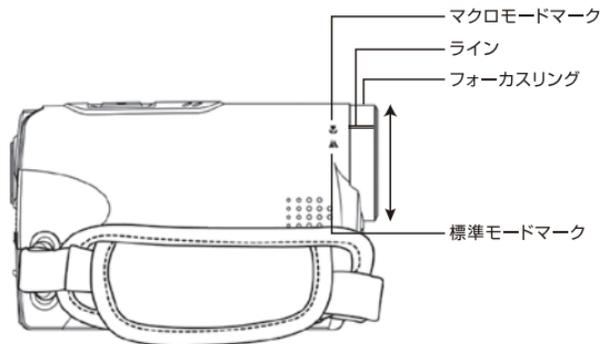
撮影距離を合わせます。正しい撮影距離で撮影されていない場合、ピントが合いませんのでご注意ください。

1. レンズ周辺のフォーカスリングを回し、リング部のラインにフォーカスモードマークを合わせます。
各モードの撮影距離は、下記の表をご覧ください。

フォーカスモード	撮影距離
▲ 標準モード	約 1.2m ~ ∞
🌸 マクロ(近接)モード	約 20cm



◆マクロ(近接)モードに設定すると、液晶モニタにマクロアイコン🌸が表示されます。





動画モード

📷 ズーム撮影

カメラにはデジタルズームが搭載されています。

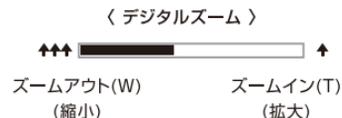
ズームは、左／右ボタンまたは液晶モニタの「T」／「W」アイコンをタッチしても操作することができます。

〈 右ボタン・左ボタンを使用する場合 〉

1. 右ボタンを押すと、ズームイン(拡大)します。
2. 左ボタンを押すと、ズームアウト(縮小)します。

〈 タッチパネルを使用する場合 〉

1. 液晶モニタのズームインアイコン T をタッチすると、ズームイン(拡大)します。
2. 液晶モニタのズームアウトアイコン W をタッチすると、ズームアウト(縮小)します。



■ ズーム倍率

動画	FHD	2 倍
	HD	3 倍
	WVGA	3 倍
	WEB	3 倍
静止画		3 倍



◆デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。



動画モード

▶ 動画メニュー

動画モードの基本設定を行います。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、 動画モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. SETボタンを押し、動画メニューを表示します。
液晶モニタの メニューアイコンをタッチしても、動画メニューを表示することができます。

3.



📺 動画サイズ (初期設定: HD)

撮影する動画サイズを設定します。

1. 動画メニューを表示します。(「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押し「動画サイズ」を選択し、SETボタンを押しサブメニューに入ります。
液晶モニタの メニューアイコンをタッチ後、▲または▼アイコン → 「動画サイズ」の順にタッチしても、サブメニューに入ることができます。
3. 上または下ボタンを押し下記のうちいずれかを選択し、SETボタンを押し決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、動画サイズを決定することができます。

FHD : 1920 × 1080 ※(16 : 9)	WVGA : 848 × 480 (16 : 9)
HD : 1280 × 720 (16 : 9)	WEB : 320 × 240 (4 : 3)

※FHDの録画サイズは1440 × 1080です。再生時の出力サイズは1920 × 1080になります。
4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニタの 戻るアイコンをタッチしても、撮影画面に戻ることができます。

2.



3.



◆サイズが大きいくほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモ리카ードで撮影できる時間が少なくなります。

◆設定する動画サイズにより、ファイルの縦横比が異なります。詳細は、P.30「縦横比」をご覧ください。



動画モード

📺 ホワイトバランス (初期設定：自動)

オートでの色調が思わしくない場合、様々な被写体周囲の状況に応じてホワイトバランスを調整し、希望の色調に近づけます。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「ホワイトバランス」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

自動 : 自動で調整します。

日光 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

曇り : 屋外の曇天時、日陰での撮影に適しています。

蛍光灯 : 室内の蛍光灯下での撮影に適しています。

白熱灯 : 室内の白熱灯下での撮影に適しています。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





動画モード

色効果(効果) (初期設定：標準)

色効果を加えることで、印象の異なる映像にすることができます。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「効果」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

標準 : 効果を加えません。
B/W(白黒) : 白黒にします。
セピア : セピア調にします。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





動画モード

測光方式(測光) (初期設定：中央部重点測光)

露出の計測方法を設定します。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「測光」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

スポット測光 ：画面の中央部を測光します。

中央部重点測光 ：画面の中央部および中央部周辺を測光します。

タッチ動体追尾AE ：液晶モニタをタッチして、被写体を選択することができます。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆「タッチ動体追尾AE」を選択した場合、撮影条件により正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2.



3.





動画モード

逆光補正 (初期設定：オフ)

撮影条件が逆光になる(被写体後方からの光量が前方からの光量を超える)場合、被写体が暗くなるのを軽減します。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「逆光補正」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オン：逆光補正機能を有効にします。

オフ：逆光補正機能を無効にします。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





動画モード

📷 夜景モード (初期設定：オフ)

暗い場面での撮影に適しています。カメラをしっかりと構えてください。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「夜景モード」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オン：夜景モードを有効にします。

オフ：夜景モードを無効にします。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆三脚等の使用をおすすめします。

2.



3.





動画モード

▶ 光量検知 (初期設定：オフ)

暗い撮影条件中に、被写体周辺の光量が増大した場合、自動的に録画を開始します。再び暗くなると録画を終了します。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「光量検知」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オン：光量検知機能を有効にします。

オフ：光量検知機能を無効にします。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



- ◆電池の消耗にご注意ください。
- ◆不要な録画をしてSDメモ리카ードの残量が少なくなる場合がありますのでご注意ください。
- ◆電源をオフにすると、設定はオフに戻ります。

1.



2.



3.





動画モード

露出補正 (初期設定 : 0EV)

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合には-(暗く)補正します。露出値は、-2.0~+2.0(0.5EVステップ)の間で調整することができます。

1. 動画メニューを表示します。(P.33「動画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「露出補正」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して補正値を選択し、SETボタンを押して決定します。
4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





静止画モード

▶ 静止画の撮影

静止画を撮影します。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、 静止画モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコン(上部左側)をタッチしても同様に選択できます。
P.33「動画サイズ」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 液晶モニタで被写体を捉えます。必要に応じてズームを使用して構図を決めます。
4. カメラをしっかり構えて、シャッターボタンを押し撮影します。
個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

▶ ズーム撮影

P.32「ズーム撮影」をご覧ください。

▶ 撮影距離(フォーカスモードの切替)

P.31「撮影距離(フォーカスモードの切替)」をご覧ください。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



静止画モード

▶ 静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、 静止画モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. SETボタンを押し、静止画メニューを表示します。
液晶モニタの メニューアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。

▶▶ 静止画サイズ (初期設定：5M)

撮影する静止画サイズを設定します。

1. 静止画メニューを表示します。(「静止画メニュー」をご覧ください)
 2. 上または下ボタンを押し「静止画サイズ」を選択し、SETボタンを押しサブメニューに入ります。
液晶モニタの メニューアイコンをタッチ後、▲または▼アイコン → 「静止画サイズ」の順にタッチしても、サブメニューに入ることができます。
 3. 上または下ボタンを押し下記いずれかを選択し、SETボタンを押し決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。
- | | |
|--------------------------|--------------|
| 12M : 約1200万画素(ソフトウェア補間) | 5M : 約500万画素 |
| 8M : 約800万画素(ソフトウェア補間) | 3M : 約300万画素 |
4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニタの 戻るアイコンをタッチしても、撮影画面に戻ることができます。



◆サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなり、同じ容量のSDメモ리카ードで撮影できる枚数が少なくなります。

3.



2.



3.





静止画モード

☞ ホワイトバランス

P.34「ホワイトバランス」をご覧ください。

☞ 色効果(効果)

P.35「色効果」をご覧ください。

☞ 測光方式(測光)

P.36「測光方式」をご覧ください。

☞ 逆光補正

P.37「逆光補正」をご覧ください。

☞ 夜景モード

P.38「夜景モード」をご覧ください。



静止画モード

📷 セルフタイマー (初期設定：オフ)

セルフタイマーを設定します。

1. 静止画メニューを表示します。(P.42「静止画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「セルフタイマー」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.42「静止画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

- オフ : セルフタイマー機能を無効にします。
- 2秒 : シャッターボタンを押してから、約2秒後に撮影します。
- 10秒 : シャッターボタンを押してから、約10秒後に撮影します。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



- ◆セルフタイマーを使用する場合は、カメラを三脚等で固定してください。
- ◆セルフタイマーの設定は一回のみ適用されます。
- ◆赤色のセルフタイマーランプが点滅します。

2.



3.





静止画モード

連続撮影 (初期設定：オフ)

連続写真を撮影することができます。シャッターを1回押すと、約1秒間に3枚の撮影をします。

1. 静止画メニューを表示します。(P.42「静止画メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「連続撮影」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.42「静止画サイズ」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オフ : 連続撮影機能を無効にします。

オン : 連続撮影機能を有効にします。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆電源をオフにすると一枚の撮影に戻ります。

2.



3.



露出補正

P.40「露出補正」をご覧ください。



音声モード

▶ 音声の録音

テープレコーダーのように、音声を録音することができます。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、 音声モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. シャッターボタンを押し、録音を開始します。
4. 再度シャッターボタンを押すと、録音を終了します。
個別のファイル名が付いて自動的に保存されます。

2.





再生モード

▶ 動画ファイルの再生

動画ファイルを液晶モニターで再生します。

1. 液晶モニターカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、 動画モードに設定します。
液晶モニターのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. 再生ボタンを押し、動画再生モードに設定します。
液晶モニターの 再生モードアイコンをタッチしても、動画再生モードに切替えることができます。
4. 左/右または上/下ボタンを押し再生する動画ファイルを選択し、SETボタンを押します。
液晶モニターのファイルをタッチしても、ファイルの選択を決定することができます。
液晶モニターの アイコンまたは アイコンをタッチしても、ファイルを移動することができます。
5. シャッターボタンを押し、動画ファイルの再生を開始します。
液晶モニターの スタートアイコンをタッチしても、ファイルの再生を開始することができます。
6. 再生中、シャッターボタンを押すと再生を一時停止することができます。
再度シャッターボタンを押すと、再生を再開します。
液晶モニターの 一時停止アイコンをタッチしても、再生を一時停止することができます。
液晶モニターの スタートアイコンをタッチすると、再生を再開します。
7. 再生中、左ボタンを押すと巻き戻し、右ボタンを押すと早送りすることができます。
左ボタンまたは右ボタンを押すたびに 2倍 → 4倍 → 8倍 → 16倍になります。
上ボタンを押すとスロー再生します。
 スロー再生アイコンをタッチしてもスロー再生することができます。
液晶モニターの 巻き戻しアイコンをタッチして巻き戻し、液晶モニターの 早送りアイコンをタッチして早送りすることもできます。
8. 戻るアイコンをタッチして再生を終了し、4.に戻ります。
9. 再生ボタンまたはモードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニターの 戻るアイコンをタッチしても、撮影画面に戻ることができます。



◆ 音量の調整機能はありません。再生前にP.71 (操作音量)で音量調整をしてください。

3.



4.



6./7.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



再生モード

▶ 静止画ファイルの再生

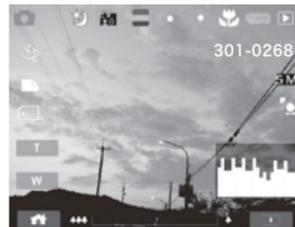
静止画ファイルを液晶モニタで再生します。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、 静止画モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. 再生ボタンを押し、静止画再生モードに設定します。
液晶モニタの  再生モードアイコンをタッチしても、静止画再生モードに切替えることができます。
4. 左／右または上／下ボタンを押し再生する静止画ファイルを選択(赤色の枠を移動)し、SETボタンを押します。
液晶モニタの ◀ または ▶ アイコンをタッチしても、ファイルを移動することができます。
液晶モニタのファイルをタッチしても、ファイルの選択を決定することができます。
5. 再度、再生ボタンまたはモードボタンを押すと、静止画撮影画面に戻ります。
液晶モニタの ◀ 戻るアイコン2度をタッチしても、撮影画面に戻ることができます。



- ◆液晶モニタの右上に、フォルダ番号とファイル番号が表示されます。
右図の表示例では、フォルダ番号：301・ファイル番号：0268 となります。

2.



※設定により表示されるアイコンは異なります。



再生モード

再生ズーム

静止画ファイルの表示中、画像を拡大表示することができます。

1. 液晶モニタのズームインアイコン **T** をタッチするとズームイン(拡大)、ズームアウトアイコン **W** をタッチするとズームアウト(縮小)します。
2. 液晶モニタの▲/▼/◀/▶アイコンをタッチして、拡大表示範囲を移動します。
3. ◀戻るアイコンをタッチすると、1倍に戻ります。



- ◆静止画ファイルのみの機能です。
- ◆最大8倍まで拡大表示できます。

1./2.





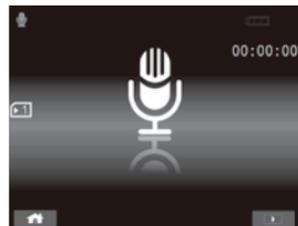
再生モード

▶ 音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押しして、🎙️ 音声モードに設定します。
液晶モニタのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. 再生ボタンを押しして、音声再生モードに設定します。
液晶モニタの ▶️ 再生モードアイコンをタッチしても、音声再生モードに切替えることができます。
4. 左/右または上/下ボタンを押しして再生する音声ファイルを選択し、SETボタンを押しします。
液晶モニタの ◀️ または ▶️ アイコンをタッチしても、ファイルを移動することができます。
液晶モニタのファイルを選択しても、ファイルの選択を決定することができます。
5. シャッターボタンを押しして、音声ファイルの再生を開始します。
液晶モニタの ▶️ スタートアイコンをタッチしても、ファイルの再生を開始することができます。
6. 再生中、シャッターボタンを押すと再生を一時停止することができます。
再度シャッターボタンを押すと、再生を再開します。
液晶モニタの ⏸️ 一時停止アイコンをタッチしても、再生を一時停止することができます。
液晶モニタの ▶️ スタートアイコンをタッチしても、再生を再開することができます。
7. ◀️ 戻るアイコンをタッチして再生を終了し、3.に戻ります。
8. モードボタンを押すと、音声録音画面に戻ります。
液晶モニタの ◀️ 戻るアイコンをタッチしても、録音画面に戻ることができます。

2.

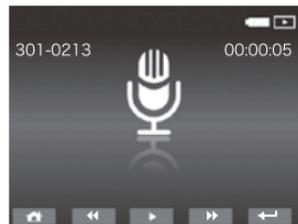


※設定により表示されるアイコンは異なります。

3.



4.





クイック削除

ファイルの一面面表示中、クイック削除メニューを表示し、素早くファイルを削除することができます。

1. 消去するファイルを表示します。
2. 下ボタンを押し、クイック削除メニューを表示します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、削除を実行/キャンセルすることができます。

はい : 表示中のファイルを削除します。

いいえ : 削除しません。

3.





再生モード

▶ 再生メニュー

再生モードの様々な設定を行います。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. モードボタンを押し、再生するモードを選択します。
液晶モニタのモードアイコンをタッチしても、モードを切替えることができます。
3. 再生ボタンを押し、再生モードに設定します。
液晶モニタの  再生アイコンをタッチしても、再生モードに切替えることができます。
4. 左/右または上/下ボタンを押しファイルを選択し、SETボタンを押します。
液晶モニタの ◀ または ▶ アイコンをタッチしても、ファイルを移動することができます。
液晶モニタのファイルをタッチしても、ファイルの選択を決定することができます。
5. SETボタンを押し、再生メニューを表示します。

5. 動画モード



5. 静止画モード



5. 音声モード





再生モード

削除

内蔵メモリまたはSDメモ리카ードの不要なファイルを削除します。

- 再生メニューを表示します。(P.52「再生メニュー」をご覧ください)
1 ファイルを削除する場合は、あらかじめ再生モードの段階で削除するファイルを選択し、再生メニューを表示してください。
- 上または下ボタンを押して「削除」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、サブメニューに入ることができます。
- 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。

1つ削除 : 選択したファイルを削除します。

すべて削除 : すべてのファイルを削除します。

〈「1つ削除」を選択する場合〉

- A-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、削除を実行／キャンセルすることができます。

はい : 選択したファイルを削除します。

いいえ : 削除しません。

●次ページへ続く

2.



3.



A-1.





再生モード

●P.53からの続き

〈「すべて削除」を選択した場合〉

B-1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

液晶モニタのアイコンをタッチしても、削除を実行／キャンセルすることができます。

はい : すべてのファイルを削除します。

いいえ : 削除しません。



◆削除したファイルは元に戻せませんのでご注意ください。

◆保護されたファイルは削除されません。

B-1





再生モード

保護・保護解除

撮影したファイルの誤消去を防ぐために保護します。

- 再生メニューを表示します。(P.52「再生メニュー」をご覧ください)
1ファイルを保護・保護解除する場合は、あらかじめ再生モードの段階で保護・保護解除するファイルを選択し、再生メニューを表示してください。
- 上または下ボタンを押して「保護」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、サブメニューに入ることができます。
- 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。

1つロック : 選択したファイルを保護します。

すべてロック : すべてのファイルを保護します。

1つロック解除 : 選択したファイルを保護解除します。

すべてロック解除 : すべてのファイルを保護解除します。

〈「1つロック」を選択する場合〉

A-1. 「1つロック」を選択し、SETボタンを押して決定します。

〈「1つロック解除」を選択する場合〉

B-1. 「1つロック解除」を選択し、SETボタンを押して決定します。

- モードボタンを押すと、再生画面に戻ります。



◆保護されたファイルには、液晶モニタにロックアイコン  が表示されます。

2.



3.





再生モード

🔍 スライドショー (初期設定：オフ)

撮影した静止画を一定の間隔で表示します。

1. 再生メニューを表示します。(P.52「再生メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「スライドショー」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、サブメニューに入ることができます。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。

オフ：スライドショーをしません。

1秒：撮影した静止画を1秒間隔で表示します。

3秒：撮影した静止画を3秒間隔で表示します。

4. モードボタンを押すと、スライドショーを停止します。
液晶モニタをタッチしても、スライドショーを停止します。



◆静止画のみの機能です。

2.



3.





再生モード

回転

静止画の向きを変更します。

1. 再生メニューを表示します。(P.52「再生メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「回転」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、サブメニューに入ることができます。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。

左90°：反時計回りに90°回転します。

右90°：時計回りに90°回転します。

4. モードボタンを押すと、再生画面に戻ります。
液晶モニタの ← 戻るアイコンをタッチしても、再生画面に戻ることができます。



◆静止画のみの機能です。

2.



3.





再生モード

DPOF

〈DPOFとは〉

DPOFは、DPOFをサポートするプリンタを使い、SDメモリーカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. 再生メニューを表示します。(P.52「再生メニュー」をご覧ください)

1 ファイルをDPOF設定する場合は、あらかじめ再生モードの段階でDPOF設定するファイルを選択し、再生メニューを表示してください。

2. 上または下ボタンを押して「DPOF」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。

液晶モニタのアイコンをタッチしても、サブメニューに入ることができます。

3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。

1つ : 選択したファイルをDPOF設定します。

すべて : すべてのファイルをDPOF設定します。

1つリセット : 選択したファイルをDPOF設定解除します。

すべてリセット : すべてのファイルをDPOF設定解除します。

〈「1つ」を選択する場合〉

A-1. 「1つ」を選択し、SETボタンを押して決定します。

〈「1つリセット」を選択する場合〉

B-1. 「1つリセット」を選択し、SETボタンを押して決定します。

2.



3.



◆DPOFが設定されたファイルには、液晶モニタにDPOFアイコン  が表示されます。
プリント枚数は一枚、用紙サイズはプリンタの初期設定となります。

◆静止画のみの機能です。

◆SD/SDHCメモリーカードの装着が必要です。



設定モード

設定メニュー

カメラの基本設定を行います。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. SETボタンを押し、左または右ボタンを押して  設定メニューを選択します。
液晶モニタの  メニューアイコンをタッチし、 設定メニューアイコンをタッチしても選択することができます。

2.





設定モード

📷 アイコン表示 (初期設定：標準)

液晶モニタのアイコン表示を切替えます。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「アイコン表示」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタの「アイコン表示」をタッチしても、サブメニューに入ることができます。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
液晶モニタのアイコンをタッチしても、メニューを決定することができます。

- 標準 : アイコンを表示します。
- ヒストグラム : ヒストグラムを表示します。
- オフ : 最小限のアイコンを表示します。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。
液晶モニタの ← 戻るアイコンをタッチしても、撮影画面に戻ることができます。



◆「オフ」に設定するとアイコン表示が少なくなり、例えばTV接続時などの場合に見やすくなります。

2.



3.





設定モード

日付／時間

P.24「日付／時刻の設定」をご覧ください。

ビープ音 (初期設定：オン)

カメラの操作音の「オン」と「オフ」を切替えます。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「ビープ音」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にしてください。
3. 上／下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オン：ビープ音を有効にします。

オフ：ビープ音を無効にします。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

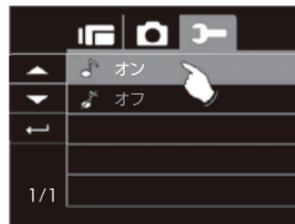


◆ビープ音をオフに設定すると、シャッター音もオフになります。

2.



3.





設定モード

初期設定(デフォルト)

カメラの設定を工場出荷時の設定に戻します。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「デフォルト」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

はい : 初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。

いいえ : 初期設定に戻しません。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆日付/時刻・言語は、初期設定に戻りません。

2.



3.





設定モード

📺 テレビ出力 (初期設定：NTSC)

ビデオ出力信号をご使用の国・地域に合わせて切替えます。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「テレビ出力」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

NTSC：日本・米国・カナダ・台湾

PAL：ヨーロッパとアジア(日本・台湾を除く)

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

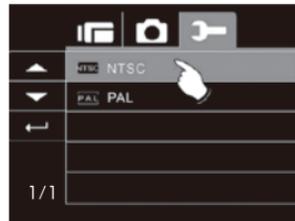


- ◆NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れたり、白黒になったりします。
- ◆再生時のテレビ出力方法を選択します。撮影時の国・地域ではありません。

2.



3.





設定モード

USB (初期設定：マストレージ)

カメラのUSB接続方法を設定します。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「USB」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

PCカメラ : PCカメラとして使用します。

マストレージ : カメラとパソコンとの間で、ファイルを転送します。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





設定モード

自動電源オフ (初期設定：3分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「自動電源オフ」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

オフ：自動電源オフ機能を無効にします。

3分：3分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

5分：5分間操作しないと、電源が自動的にオフになります。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





設定モード

電源周波数 (初期設定：60Hz)

撮影の地域によって正しい電源周波数を選択し、蛍光灯のチラツキを抑制します。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「電源周波数」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

50Hz：電源周波数を50Hzに設定します。

60Hz：電源周波数を60Hzに設定します。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

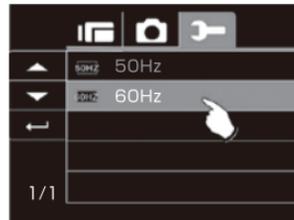


◆日本では50Hzと60Hzの交流電源が使われています。静岡県の富士川から新潟県の糸魚川あたりを境に東側が50Hz、西側が60Hzです。

2.



3.



言語

P.25「言語の設定」をご覧ください。



設定モード

📷 フォーマット

P.18「SD/SDHCメモ리카ードのフォーマット」をご覧ください。

📷 ファイル番号 (初期設定：連続)

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「ファイル番号」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

連続 : ファイルを連続して設定します。

リセット : フォーマットをすると、ファイル番号が001から始まります。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



◆パソコンに保存する場合、同じファイル番号は上書きされますのでご注意ください。

2.



3.





設定モード

液晶輝度 (初期設定：中)

液晶モニタの明るさを設定します。

明るい屋外では「高」(明るく)、暗い室内では「低」(暗く)すると見やすくなります。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「液晶輝度」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にしてください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

高：液晶モニタの明るさを、明るめに設定します。

中：液晶モニタの明るさを、標準に設定します。

低：液晶モニタの明るさを、暗めに設定します。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

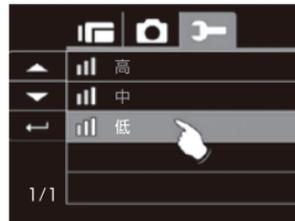


◆液晶輝度を「高」に設定すると、電池の消耗が早くなります。

2.



3.





設定モード

📷 プレビュー (初期設定：1秒)

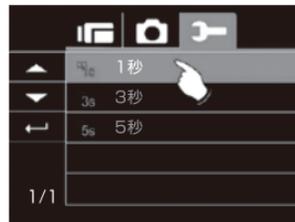
静止画の撮影直後、撮影した静止画を液晶モニタに表示する時間を設定します。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「プレビュー」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。
 - 1秒：撮影した静止画を1秒間表示します。
 - 3秒：撮影した静止画を3秒間表示します。
 - 5秒：撮影した静止画を5秒間表示します。
4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





設定モード

メモリ (初期設定 : SD1)

撮影したファイルを保存するSDメモリカード(SD1およびSD2)を選択します。

1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「メモリ」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

SD1 : 撮影したファイルをSD1に保存します。

SD2 : 撮影したファイルをSD2に保存します。

4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

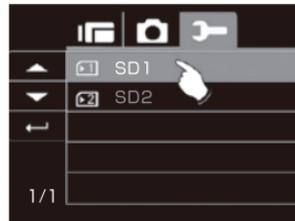


◆リセットしても初期設定に戻りません。

2.



3.





設定モード

🔊 操作音量 (初期設定：中)

操作音の音量を調節します。

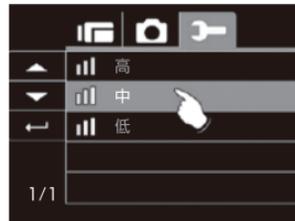
1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「操作音量」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押して決定します。

高：音量を大きくします。
中：音量を標準にします。
低：音量を小さくします。
4. モードボタンを押すと、撮影画面に戻ります。

2.



3.





設定モード

🔗 起動ロゴ (初期設定：デフォルト)

起動画面を変更します。

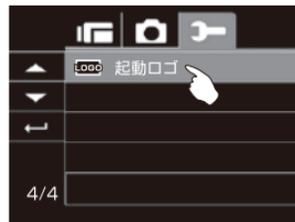
1. 設定メニューを表示します。(P.59「設定メニュー」をご覧ください)
2. 上または下ボタンを押して「起動ロゴ」を選択し、SETボタンを押してサブメニューに入ります。
液晶モニタのアイコンをタッチしても同様に選択できます。
P.60「アイコン表示」の操作方法を参考にご覧ください。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、SETボタンを押します。

デフォルト : 初期設定。

ユーザー設定 : 任意の画面を選びます。

4. 「ユーザー設定」を選択してSETボタンを押すと保存されている静止画が表示されます。
上/下または左/右ボタンを押して赤枠を移動して選択し、SETボタンを押して決定します。

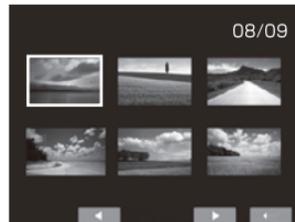
2.



3.



4.

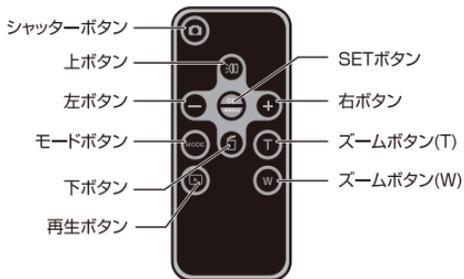




リモコン

▶ リモコンを使用する

付属のリモコンを使用してVS30FHDを操作します。初めてご使用になる前に、リモコンの絶縁(透明)シートを➡の方向に引き抜いてください。



操作方法

- 左/右ボタン : 本体と同様です。
(ズームはできません)
- 上/下ボタン : 本体と同様です。
- モードボタン : 本体と同様です。
- (T)ボタン : ズームイン(拡大)
- (W)ボタン : ズームアウト(縮小)
- シャッターボタン : 本体と同様です。

1. 液晶モニタカバーを開く、あるいは電源ボタンを押し、カメラの電源をオンにします。
2. その後の操作は、リモコンを使用できます。
3. 終了する場合は、カメラ本体の電源をオフにしてください。
リモコンで電源のオン・オフはできません。



- 電池の交換は右図を参考にして新しい「CR2025ボタン電池」と入れ換えます。
刻印のある面を上にします。
- リモコンの有効範囲は受光部に向けて約5m(左右方向：約40°、上下方向：約40°)です。

絶縁シールの外し方



電池交換





プリント

▶ プリント

VS30FHDIには、DPS(ダイレクトプリント)機能がありません。

▶ カメラ店等(お店プリント)でプリントする場合

SD/SDHCメモ리카ードをご持参ください。あらかじめプリントする静止画のフォルダ番号、ファイル番号と枚数をメモしてください。
(P.48「静止画ファイルの再生」をご覧ください)
DPOF設定してプリントする方法もあります。
(P.58「DPOF」をご覧ください)



- ◆パソコンを使用してCD-ROM等にコピーしてプリントを依頼する方法もあります。
- ◆SD/SDHCメモ리카ード内の必要なデータはCD-ROM等にバックアップをお取りください。
バックアップ後は、メモ리카ードのフォーマット(P.18参照)を行うと、メモ리카ードの最大容量が使用できるようになります。

▶ プリンタ(自宅プリント)を使用してプリントする場合

1. 付属のUSB-PC接続ケーブルを使用し、カメラとパソコンを接続します。(P.77「パソコンとの接続」をご覧ください)
2. 静止画をパソコンに取り込みます。
3. パソコンからプリントします。



- ◆SD/SDHCメモ리카ードスロットのあるプリンタでは、直接SD/SDHCメモ리카ードを挿入してプリントできます。
- ◆お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。



テレビとの接続

標準テレビとの接続

付属のTV接続ケーブルを使用し、カメラとテレビを接続します。

1. テレビとカメラの電源をオンにします。
2. 右図を参考に付属のTV接続ケーブルの4PプラグをカメラのAUDIO OUT端子に接続します。
3. もう一方の黄色端子をテレビの映像入力端子に、赤色の端子を音声入力(R)に、白色端子を音声入力(L)に接続します。
4. 液晶モニタにAUDIO端子の選択が表示されます。「テレビ出力」を選択してSETボタンを押します。
液晶モニタは自動的にオフになります。
5. テレビの入力切替をビデオ入力モードにセットします。
6. 動画・静止画を再生します。再生の手順は液晶モニタ使用時と同様ですが、タッチパネル操作はできません。

4.



- ◆テレビ入力端子の場所、使用方法は、お使いのテレビの取扱説明書でご確認ください。
- ◆NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れます。
P.63「テレビ出力」をご覧ください。
- ◆HD画質で記録されたデータも、SD(標準)画質で再生されます。
- ◆他のAV機器(レコーダ等)と接続して、SD(標準)画質で記録できます。
お使いのAV機器の取扱説明書をご覧ください。
- ◆マイク選択時は、出力インピーダンス 2.2kΩ以上のマイクをご使用ください。
- ◆イヤホン選択時は、別売のイヤホンを使用してください。
この場合は、カメラの音声はオフになります。





テレビとの接続

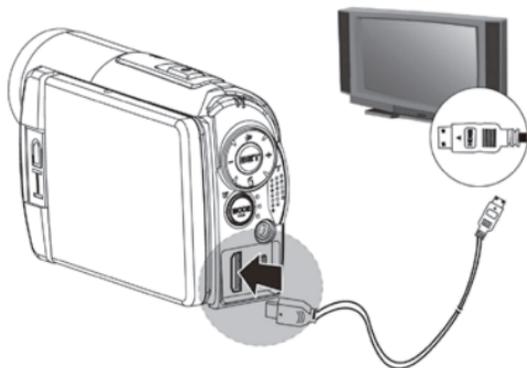
ハイビジョンテレビとの接続

付属のHDMI接続ケーブルを使用し、カメラとハイビジョンテレビを接続すると、動画・静止画を高解像度で表示することができます。

1. ハイビジョンテレビとカメラの電源をオンにします。
2. 付属のHDMI接続ケーブルのプラグ(小さい方)をカメラのHD端子に接続します。
もう一方の端子(大きい方)をハイビジョンテレビのHDMI入力端子に接続します。
カメラの液晶モニタは自動的にオフになります。
3. ハイビジョンテレビの入力モードをHDMIにセットします。
4. 動画・静止画を再生します。再生の手順は液晶モニタ使用時と同様ですが、タッチパネルでの操作はできません。



◆ハイビジョンテレビの入力端子の場所、使用方法は、ハイビジョンテレビの取扱説明書をご覧ください。





パソコンとの接続

▶ パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。カメラのUSBモードを「マストレージ」に設定しておく必要があります。詳しくはP.64「USB」をご覧ください。

1. パソコンとカメラの電源をオンにします。付属のUSB-PC接続ケーブルのUSB端子(大きい方)をパソコンに接続します。
2. 付属のUSB-PC接続ケーブルのミニUSB端子(小さい方)をカメラに接続します。
初めてパソコンにカメラを接続すると「新しいハードウェアが見つかりました」と小さく表示され、しばらくすると「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備が出来ました」と小さく表示されます。
3. カメラの内蔵メモリとSDメモ리카ードのファイルが、リムーバブルディスクとして表示されます。
4. ファイルは「スタート」→「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「301 MEDIA」にあります。
5. 終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC接続ケーブルを離してください。



- ◆カメラがパソコンに接続されると、カメラの液晶モニタの表示がオフになります。
- ◆お使いのパソコンのOS等により表示は異なります。

USBモード



▶▶ 転送時のご注意

画像をパソコンに取り込む際には、以下の注意事項を必ず守ってください。



- [リムーバブルディスク]からコピーしている際(画像取り込み時)は、USB-PC接続ケーブル、SDメモ리카ードを絶対に抜かないでください。内蔵メモリ、SDメモ리카ードが破損する恐れがあります。
- [リムーバブルディスク]内にあるフォルダ及びファイルの名前を変更しないでください。
- [リムーバブルディスク]内にパソコンからデータなどをコピーしないでください。カメラの動作が不安定になる原因になります。
- [リムーバブルディスク]をパソコンでフォーマットしないでください。
- [DCIM]フォルダ内にあるファイルデータは、カメラ内に保存されているファイルデータを表示しています。このフォルダにあるデータを削除してしまうと、カメラ内の画像が消去されてしまいますのでご注意ください。



パソコンとの接続

▶ PCカメラの使用

専用ドライバをインストールする前に、パソコンとカメラ(USBモードでPCカメラを選択)を接続しないでください。

1. カメラとパソコンの電源をオンにします。
2. あらかじめカメラの基本設定メニューから「USBモード」を「PCカメラ」に設定してください。P.64をご覧ください。
3. カメラとパソコンを付属のUSB-PC接続ケーブルで接続します。
USBモードが表示され、しばらくすると設定が完了して自動的に消えます。
4. 初回のみ「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、
しばらくして「新しいハードウェアの使用準備ができました」と表示されます。
5. パソコンのモニタに「スキャナとカメラウィザードの開始」が表示されます。「キャンセル」をクリックしてください。
6. Windows XPの場合、「スタート」→「マイコンピュータ」の「DV Ts (Video)」をダブルクリックするとPCカメラとして機能します。



- ◆PCカメラはサポート外となります。あらかじめご了承ください。
- ◆終了する時は、各OSに適した方法で終了してください。



パソコンとの接続

PCカメラ用ドライバのインストール

PCカメラとして使用するには、すべてのOS[Windows 2000(SP4)／XP(SP2)／Vista(32bit)]で専用ドライバをインストールする必要があります。

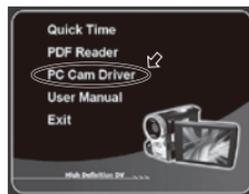
1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
自動的にインストール画面が表示されます。
表示されない場合は、「スタート」から「マイコンピュータ」を開き、その中のCD-ROMドライブから「Install CD」をクリックします。
2. 「PC Cam Driver」をクリックします。
英文です。画面の指示に従ってインストールを進めてください。
3. 「Installation Complete」(完了)が表示されます。
「Close」(閉じる)をクリックします。
必要に応じてパソコンを再起動します。



◆PCカメラはサポート対象外です。

インストールの途中で「Windows ロゴ 認定テストに合格したソフトウェアを入手することをMicrosoftは強く推奨します」というメッセージが表示される場合があります。その場合、問題なくインストールできますが、動作等に対する保証は致しかねますのであらかじめご了承ください。

2.



3.





付属アプリケーション

▶ 付属のソフトウェアの説明

▶ Quick Time

VS30FHDで撮影した動画をパソコンで再生します。

▶ PDF・Reader

付属CD-ROM内の外国語の取扱説明書を読むソフトウェアです。

お使いのパソコンにAdobe Readerが、すでにインストールされている場合は、インストールの必要はありません。

このソフトウェアは英語です。日本語でインストールをご希望の方は、インターネットのAdobe社のホームページから無料でダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/jp/>

▶ 付属CD-ROM内の取扱説明書(User Manual)

付属CD-ROM内には、12カ国語の取扱説明書が入っています。



◆VS30FHDは、出荷先(国・地域)により仕様が異なります。

◆CD-ROMに保存された取扱説明書は、英語版を元に作成しています。

従いまして、取扱説明書の説明範囲、内容の一部が本書と異なります。あらかじめご了承ください。



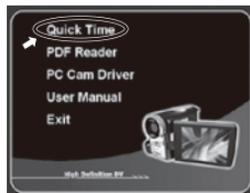
付属アプリケーション

ソフトウェアのインストール

Quick Timeのインストール

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。立ち上がらない場合は、「スタート」→「マイコンピュータ」→「CD-ROM」の順にクリックして開き、「Install CD」をダブルクリックしてください。
3. 「Quick Time」をクリックします。
4. 「ようこそQuick Time 7 インストーラへ」が表示されます。「次へ」をクリックします。
5. 「使用許諾契約」が表示されます。内容を確認後、同意する場合は「はい」をクリックします。
6. 「インストール先フォルダ」が表示されます。確認後、「インストール」をクリックします。インストールが開始されます。
7. 「Quick Timeのインストーラが完成しました」が表示されます。「完了」をクリックします。
8. 「ビデオを見てだけ?...」が表示されます。VS30FHDの動画を再生するには、Quick Timeは必要ですが、「Quick Time 7 Pro」は必要ありません。「購入しない」をクリックします。
9. インストール画面に戻ります。必要に応じてパソコンを再起動してください。

3.



4.



5.



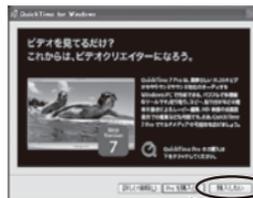
6.



7.



8.





付属アプリケーション

PDF Readerのインストール

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。「PDF Reader」をクリックします。インストールの準備が開始されます。
3. 「Destination Folder」(インストール先フォルダ)が表示されます。確認後、「Next」(次へ)をクリックします。
4. 「Ready Install the Program」(インストールの準備ができました)が表示されます。「Install」(インストール)をクリックします。インストールが開始されます。
5. 「Set up Completed」(インストールが完了)が表示されます。「Finish」(終了)をクリックします。しばらくすると完了してインストール画面に戻ります。

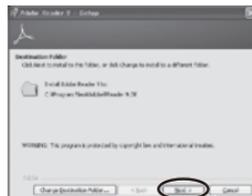


- ◆お使いのパソコンにすでにAdobe Readerがインストールされている場合は、「PDF Reader」のインストールは不要です。
- ◆日本語でのインストールをご希望の場合、お使いのパソコンにインターネットへの接続環境が必要です。
Adobe社のホームページ <http://www.adobe.com/jp/>に接続して、「Get ADOBE READER」をクリックしてください。

2.



3.



4.



5.





付属アプリケーション

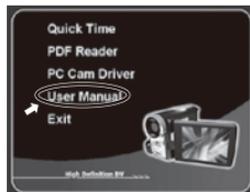
■ User Manualの使用準備と使用方法

1. 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。
2. インストール画面が自動的に立ち上がります。
3. 「User Manual」をクリックします。
4. 初めてAdobe Readerを使用する時、「Adobe Reader - License Agreement」(Adobe Readerの使用許諾)が表示されます。内容を確認後、同意する場合は「Accept」(同意)をクリックします。
5. 取扱説明書が表示されます。左上の「File」(ファイル)をクリックします。メニューが表示されますので、「Open」(開く)をクリックします。
6. 「ファイルを開く」が表示されます。ファイルの場所を「CD-ROMドライブ」から「User Manual」をダブルクリックします。
7. 保存されている取扱説明書が表示されます。例えば、英語の取扱説明書を見る場合は、「User Manual English」をクリックしてから「Open」をクリックします。英文の取扱説明書が表示されます。



◆取扱説明書を見るには、付属CD-ROMを毎回パソコンにセットする必要があります。

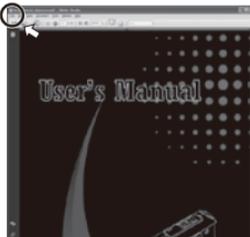
3.



4.



5-1.



5-2.



6.



7.





動画データ(HD画質)の保存・再生

●保存する

撮影した画像をSDメモリーカードに記録します。

動画の解像度等を変更せずに保存するには、記録されたSDメモリーカードのまま保存してください。

●再生する

記録されたSDメモリーカードをカメラにセットし、

付属のHDMI接続ケーブルでHD対応テレビに接続して再生します。P.76をご覧ください。



- ◆SDメモリーカードでの動画データの保存の他、動画データをパソコンのハードディスク等に保存し、再生する時にデータをSDメモリーカードに戻して、カメラで再生する方法もあります。
- ◆撮影データのパソコンへの読み書きは、付属のUSB-PC接続ケーブルを使用する他に、SDメモリーカードリーダー・ライター(別売)でもできます。パソコン操作の初心者の方におすすめします。



トラブルシューティング

📷 こんなときは

症状	原因	対策
電源が入らない。	電池の挿入方向は間違っていますか？	電池の+を確認し、正しい方向で挿入してください。(P.12 参照)
	電池残量は充分ですか？	充電してください。(P.14 参照) または新しい乾電池をご使用ください。(P.12 参照)
電池またはカメラが熱を持っている。	カメラの連続使用またはフラッシュによるもので、異常ではありません。	
シャッターボタンを押しても 動画・静止画が撮れない。	シャッターボタンが完全に押されていますか？	シャッターボタンを完全に押し込んでください。
	メモ리카ードの残量は充分ですか？	新しいメモ리카ードを使用するか、不要なファイルを削除してください。(P.53 参照)
	メモ리카ードがライトプロテクトされていませんか？	ライトプロテクトを解除してください。(P.17 参照)
動画・静止画が撮れない。	メモ리카ードの残量は充分ですか？	新しいメモ리카ードを使用するか、不要なファイルを削除してください。(P.53 参照)
	メモ리카ードは正しくフォーマットされていますか？	正しくフォーマットしても改善しない場合、メモ리카ードが壊れている可能性があります。新しいメモ리카ードをご使用ください。
ピントが合わない。	レンズが汚れていませんか？	レンズペーパーや柔らかく乾いた布でレンズを拭いてください。
	正しい撮影距離で撮影していますか？	正しい撮影距離で撮影してください。(P.31 参照)
ファイルが削除できない。	ファイルが保護されていませんか？	保護解除してください。(P.55 参照)
	メモ리카ードがライトプロテクトされていませんか？	ライトプロテクトを解除してください。(P.17 参照)
ファイルをダウンロードできない。	ハードディスクの空き容量は充分ですか？	ハードディスクの容量が充分かどうかご確認ください。

※上記の電池に関する記載は、リチウムイオン充電電池使用の場合です。



記録可能時間／枚数の目安

▶ 動画の記録可能時間

動画サイズ	内蔵メモリ	SD メモリカードの容量
		1GB
FHD	4 秒	21 分 40 秒
HD	6 秒	32 分 42 秒
WVGA	6 秒	32 分 42 秒
WEB	34 秒	3 時間 06 分 53 秒

▶ 静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	内蔵メモリ	SD メモリカードの容量
		1GB
5M (約 500 万画素)	5 枚	987 枚
3M (約 300 万画素)	8 枚	1236 枚



- ◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能時間／枚数に差が出ます。上記表は目安としてご参考下さい。
- ◆記録可能時間・枚数に達する前に、電池残量が無くなる場合があります。



仕様

▶ 製品仕様

イメージセンサ	1 / 2.5 型 CMOS	ファイル形式	動画 : H.264(MOV) 静止画 : JPEG
総画素数	551 万画素	音声形式	ADPCM
有効画素数	503 万画素 (静止画時)	動画サイズ	FHD、HD、WVGA、WEB
レンズ	f=7.1mm F3.2	静止画サイズ	12M(ソフトウェア補間)、8M(ソフトウェア補間)、5M、3M
デジタルズーム	2 倍 (FHD)、3 倍 (HD、WVGA、WEB、静止画)	シャッタースピード	1/4000~2 秒
撮影距離	標準 : 約 1.2 m ~ ∞ マクロ : 約 20cm	露出補正	+2.0EV ~ -2.0EV(0.5EV ステップ)
液晶モニタ	3.0 型 LTPS タッチパネル	電源	リチウムイオン充電電池 (Kenko K-#1017) または、単 4 形アルカリ乾電池 4 本
内蔵メモリ	32MB フラッシュメモリ	入出力ポート	USB 1.1 / 2.0、HD 出力端子
外部メモリ	SD メモリカード : 32MB~2GB (2 スロット) SDHC メモリカード : 4GB~32GB (2 スロット) 2 スロットの合計で最大 64GB	寸法(幅×高×奥行)	約 111 × 65 × 40 mm
		重量	約 227g(付属品、電池を除く)



▶ PC環境

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(1.1以上)を標準装備したパソコン

	Windows 対応 OS
	Windows 2000 Pro.(SP4) / XP(SP2) / Vista(32bit)
CPU	Intel Pentium 4 2.8GHz 以上推奨
メモリ	512MB 以上
ビデオカード	RAM 64MB 以上
ドライブ	CD-ROM 必須
インターフェース	インターフェース USB 1.1 / 2.0

動作保証について

- 動作環境を満たすパソコンでも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
 - 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。
 - USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証いたしません。
- ※ Mac OS 10.3～10.4で動作いたしますが、サポート対象外です。動作が不安定な場合は、SDメモリーカードリーダーをご使用ください。